



ご説明資料

旧常盤小学校跡地の利用について

グローバル・インディアン・エデュケーション株式会社



GSG紹介・世界実績

グローバル・インディアン・エデュケーション株式会社の母体であるGlobal Schools Group (GSG) は、シンガポールに本部を置き、世界11カ国で12のブランドのインターナショナルスクールを展開しており、64のキャンパスには約45,000人以上の生徒が在籍しております。20年以上にわたり、国際的な教育の分野で確かな実績を築いてまいりました。

さらに、70以上の国籍の子供たちが在籍しており、お互いを尊重しながら一緒に学んでいくことを大切にしています。

70+
国籍

12
学校
ブランド

64
キャンパス

45,000+
生徒

11
カ国

複数の教育プログラム



GSG海外校風景



海外校の様子



授業風景



未就学児教室



校舎と生徒達



グラウンド



体育風景



GSG大学進学実績



グループ全体では国内有名大学だけではなく、
世界各地の有名大学への進学実績が多数あります。

国内大学：

早稲田大学、慶應義塾大学、上智大学、筑波大学、
名古屋大学、東北大大学、等

海外大学：

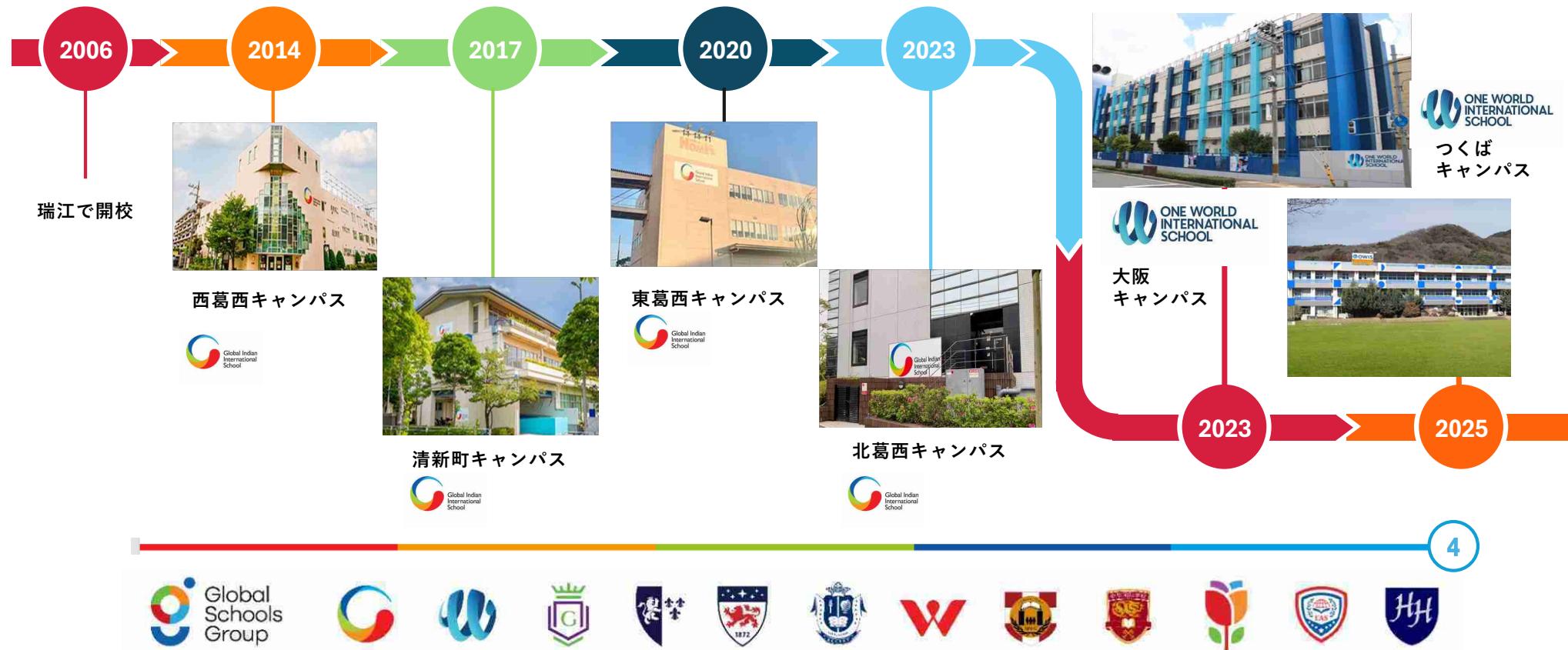
シンガポール：シンガポール国立大学、南洋理工大学
アメリカ：カリフォルニア大学バークレー校、
カーネギーメロン大学、UCLA、ジョージア工科大学
イギリス：オックスフォード大学、ケンブリッジ大学、
インペリアル・カレッジ・ロンドン、
ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス 等



日本国内事業の発展の歴史



2006年にグローバルインディアンインターナショナルスクール (GIIS) を東京都江戸川区に開設し日本法人がスタートしました。
その後、ワンワールドインターナショナルスクール (OWIS) を2023年大阪に開校、2025年につくばに開校しております。



日本国内実績



小学校跡地利用を含む豊富な運営実績

当法人は、**2006年**に東京都江戸川区でインターナショナルスクールを開校して以来、着実に生徒数を伸ばし安定した運営を続けてまいりました。現在は、東京都内で「グローバル・インディアン・インターナショナル・スクール東京 (GIIS)」を**4キャンパス**展開しており、2023年8月にワンワールドインターナショナルスクール (OWIS)大阪キャンパスを、そして2025年8月にはつくばキャンパスを開校いたしました。いずれの学校も、**日本人の生徒が全体の54%**を超えており、地域に根ざした国際教育を実現しております。大阪キャンパスは、「生野小学校跡地活用事業」における公募で当法人の提案が採択され、地域の皆さまのご理解とご協力のもと、跡地を有効活用して開校いたしました。

つくばキャンパスは茨城県からの正式な誘致を受け、県・市の長年のご支援のもと開校しました。開校記念式典には県知事や市長、議員、区長、筑波大学関係者の皆さまにもご出席いただきました。



つくばキャンパス



OWISスクール概要

(ワンワールドインターナショナルスクール)



札幌市ではワンワールドインターナショナルスクール（OWIS）開校予定のため、大阪とつくばのOWISを基に記載しています。

教員国籍

アメリカ、イギリス、オーストラリア、カナダ、フィリピン、インド、日本など多くの国から優秀な人材が集まっています。



教員資格

教師はIB認定証（国際的に認められた教育プログラムを教える資格）や教育学修士号を取得しています。



日本語対応可能スタッフ

全教職員の約40%が日本語対応可能です。日本語対応可能な教員やスタッフが常駐しています。



学校風景



教員採用方法

教員履歴と共に、人間性を重視した採用を行っています。また、前職からの推薦状も必須としています。



防災対策-応急手当訓練

教師の応急処置の訓練や、生徒達の避難訓練は定期的に行われています。

6



OWISスクール概要

(ワンワールドインターナショナルスクール)



生徒の 国籍内訳

大阪校 一日本/54.7%、中国/ 30%、インド/ 0.7%、韓国/ 2.2%
アメリカ・カナダ・オーストラリア/ 10%、その他/ 2.4%
つくば校一日本/ 82%、モンゴル/ 9%、中国/ 7%、インド/ 2%

日本語プログラム

OWISでは日本の国語の教科書を使い、国語の授業を行っています。その授業の中で文化や道徳も学びます。また日本語が得意ではない生徒には別クラスにて生徒に合わせたテキストで授業を行っています。地域での生活や将来の進学・仕事にも役立ち、英語だけでなく日本語も身につけることで、国際的に活躍できる力を育てるためです。

学校教育法の位置付け

本校は学校法人ではなく、株式会社が運営するインターナショナルスクールとして、国際的に評価の高い教育カリキュラムを提供しています。

IBDP（国際バカロレア・ディプロマプログラム：高校2・3年生相当）の認定校で修了証を取得した生徒は、文部科学省の基準に基づき、日本国内の大学入学資格を得ることができます（※高等学校卒業資格とは別の制度です）。

なお、東京校はすでにIBDPの認定校として運営しており、大阪校・つくば校・札幌校は今後IBDPの認定取得に向けて申請を予定しています。

日本文化 体験



グループ校との 交流

世界各国にあるグループ校との交流を行っています。国内外の校舎で参加するプレゼンテーション大会や、海外校との交換留学を行なっています。



シンガポール校との交流



つくば開校記念式典風景

7



札幌市での計画

- 札幌は、豊かな自然と文化芸術が息づく街として、子どもたちの学びに最適な環境が整っています。近隣には芸術の森があり、自然や文化に触れながら学べる環境であること、そして歴史ある常盤小学校の建物を活用することで、地域に親しまれてきた建物を教育の場として生かし、子どもたちが安心して学べる環境を提供できることから、札幌市での開校を希望しました。
- 札幌市では、ワンワールドインターナショナルスクール(OWIS)の開校を予定しています。

対象年齢

未就学児を対象とした幼稚教育及び、小学1年生から高校3年生に相当する12年間の初等～高等教育を、国際的な教育プログラムに基づいて提供致します。

推進計画

初年度は未就学児から小学5年生までを対象とし、必要に応じて学年を順次増やし、最終的には高校3年生まで拡大していく計画です。

生徒数について：

初年度の生徒数は約50名を想定しており、各クラスは最大18名程度の少人数制とします。生徒数の最大定員は約650名を見込んでおり、2033年以降の達成を目標としています。

教員について：

初年度は約15名の教職員体制でスタートし、学年の拡充や生徒数の増加に応じて、段階的に人員を増員していきます。教員は多国籍で、大学で教育学を専攻し、豊富な国際的な教育プログラムの経験を有する人材を採用する予定です。

生徒数推移予想



札幌市での計画

使命

私たちの使命は、あらゆる文化を尊重し、探究心と思いやりを持ち、生涯にわたって学び続ける力を育成することです。すべての子供たちが最高クラスの、将来性のある教育を平等に受ける権利を持つべきだと考えています。

理念

私たちは、価値観、協調性、創造性、他者への奉仕を重視し、質の高い教育を提供することを目指しています。

基本的価値観

確固たる価値観のもと、私たちはこの国際社会で学生の将来にプラスとなる教育を提供します。



国際共生と
適応能力



創造性と
革新性



地域社会と
包括性



思考的
自立

札幌市での計画

英語サポート



英語に自信がない生徒でも、安心して英語だけの授業に参加できるよう、『英語準備プログラム（AEP）』を行っています。このプログラムでは、生徒一人ひとりの英語力を少しずつ伸ばし、自信を持って授業にのぞめるようサポートしています。

カウンセリング・サポート



当校はカウンセリングの一部として、学校全体で生徒の様子を観察しています。学校生活で気になることや、個人的な相談などカウンセラーが親身になって対応いたします。

保護者とのコミュニケーション



生徒の担任の先生は、「Toddle（トドル）」というアプリを使って、保護者の方と直接やりとりをしています。
※トドルは、先生と保護者が生徒の様子を伝え合える仕組みです。

このアプリを通して、生徒の成長や学びの様子について、先生から役立つ情報を受け取ることができます。また、保護者と先生が協力することで、生徒が安心して学び続けられる環境を作ることができます。さらに、毎月発行される学校だよりも、学校の様子や大切なお知らせをお届けしています。

放課後の活動



当校では、在校生以外の方でも参加できる、教育的で楽しい課外活動や季節ごとの特別プログラムを行っています。

幼児のための保育、学習室、英語を集中的に学ぶクラス、さまざまな趣味の活動、夏の学習合宿など、多くの方の興味や関心に応える充実した内容です。

札幌市での計画

授業料について（想定）

未就学児：年間150万円程度
小学1～5年生：160万円程度
6～中学2年生：170万円程度
中学3年生以上：180万円～
その他設備費・登録費、等

学校運営（想定）

開校時間

未就学児・小中学生

：午前9時～午後3時30分

高校生：午前9時～午後4時30分

休暇期間

夏休み：7月中旬～8月中旬

冬休み：12月中旬～1月下旬

春休み：3月最終週

生徒の外出

学校開校時間中は原則として
外出不可（想定）

スクールバスについて

保護者の送迎の他に、登下校のスクールバスの運行を予定しています。開校時は2台のバスを予定しています。
なお、運転手は日本の交通ルールや雪道の運転に精通している方を採用する予定です。

大阪とつくばの送迎の様子



スクールバス



スクールバスの乗降



一部をアスファルトにした様子



バスの通路



誘導員の様子

地域貢献

地域の方との交流を大切にします

校庭や体育館の開放

地域の文化・スポーツ活動を支援するため、学校運営に支障のない範囲で、地域団体の皆様に校庭や体育館を開放する予定です。運営方法につきましては、今後三者協議体において協議のうえ決定する予定です。

地域住民向けイベント開催

年に一度、学校主催のイベントに地域の皆さんにもご参加いただける機会を設け、地域との交流を深めてまいります。



サマーキャンプ



スプリングカーニバル



夏祭り

地域雇用の創出

当法人が運営する他の小学校跡地の拠点では、自治体と連携し、地域住民の方々に施設の清掃員や用務員等の業務に従事していただいております。旧常盤小学校においても、地域の関係機関と連携し、地域雇用の機会を創出するとともに、施設が地域とつながる場として活用されることを目指します。

避難場所の確保と体制整備

緊急時の一時避難場所として、体育館を地域向けに開放します。また札幌市との協定締結のうえ、緊急時対応ができるよう体制を構築します。また、大阪校では地域で使用する避難用品を学校内に保管しています。

地域の
防災用品の
保管の様子



地域の方の体育館利用

フードバンクボランティア
学校が中心となり、生徒や地域の方との交流の際に食材の寄付を募ったり、生徒達が学校の敷地内で野菜を作り、収穫した食材をフードバンクの団体に寄付しています。

写真は全てOWIS大阪の様子です

協力体制

地域の皆様と共に子供達の笑顔を育みます

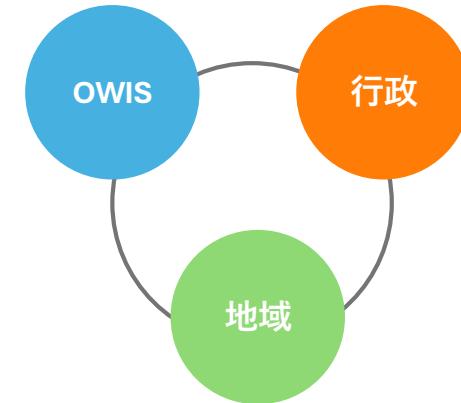
地域とともに歩む運営体制の構築

「(仮称) 地域連携協議会」の設置・運用のご提案

地域との継続的な対話の場として、「地域連携協議会（仮称）」の設置を検討しています。大阪校では、行政・地域・弊社による三者協議体を設け定期的に意見交換や連携を行ってまいりました。協議体では、施設運営や地域イベント、防災、地域の声について意見交換を行い、信頼関係の構築に努めています。基本的には年2回（3月・9月）の開催を予定しており、大阪校ではこれまでに4回程度実施しています。

地域との信頼関係の構築に向けて

一度の関わりでは築きにくい地域との関係性についても、定期的な協議の場を設けることで、信頼と連携を深め、より持続可能な関係性を育んでまいります。



地域住民の声を反映した施設運営

「みんなの声ポスト」の設置

施設内に地域住民のご意見を受け付ける「みんなの声ポスト（意見箱）」を常設し、地域の声を広く収集します。寄せられたご意見は協議会にて集約・検討のうえ、実現可能な内容から迅速に施設運営へ反映いたします。



13

開校までのスケジュール



2027年8月の開校を目指します



14